

# 「子どもの病気」病状紹介

市母子寡婦福祉会 安谷屋さん（宮古病院 元院長）講話

宮古島市母子寡婦福祉会 市内在住のひとり親世帯の第4回宮古島市ひとり親の病状についての講話や家庭生活向上事業の情報交換会が行われた。宮古病院元院長の安谷屋正明さんが講師を務め、子ども

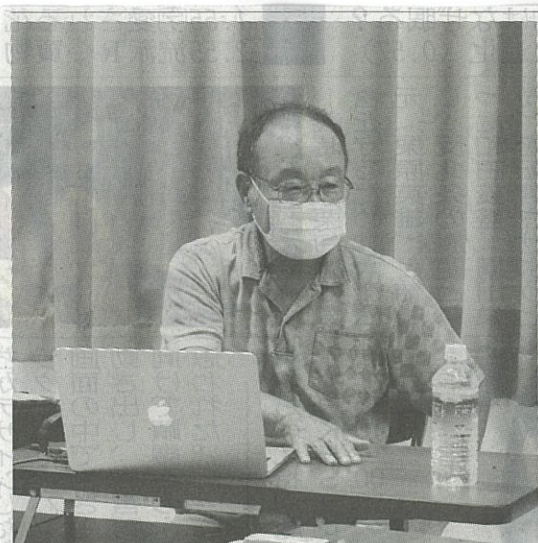
が発症しやすい病気などについて紹介した。

講義で急性虫垂炎やクルーズフェルチン症候群などの特徴的な病状についての紹介や咳について「ケンケン」というような普段とは違う咳は小児科へ、咳と熱はあるが不機嫌でなく眠れそうに遊べる状態であれば家庭で様子を見る」などの急な子どもの変化への対応の仕方などが話された。

安谷屋さんは「一番は、

早寝早起き、朝ご飯を食べさせること。またゲームやスマートフォンも昼夜逆転になったり視力に影響を及ぼす可能性が高いため時間制限を設けることが大切」とアドバイスした。

奥平会長は「専門の先生の話聞いて子育てに生かしてほしい。月1回地域交流や情報交換をしているため、これらを活用して自分たちの生活を楽しくしてほしい」と話した。



子どもがかかりやすい病気について説明する安谷屋さん＝働く女性の家